

文化

沈黙に向き合う

沖縄戦聞き取り47年

石原 昌家

(53)



道路脇の土手に座り、收容所行き
の輸送車両を待つ日本の軍人と民間人ら
(米陸軍通信隊写真) = 1944年7月14
日、サイパン島(県公文書館所蔵)

サイパン島での日米両軍の戦闘のさなか、9歳で孤児となった沢岷安英さんの体験は、沖縄戦の聞き取りで私は聞いたことがない人間の間を露わにする内容だった。その証言はまだ続いている。

孤児への大人の対応
戦場で破傷風に罹るとい
うのは、死を意味するとい
「孤児仲間」に男の子と女の

子の兄妹がいた。兄が破傷
風にかかると死にかかると
口も開かなくなっている
が喉が濁っている様子で
妹が泣きながら兄にとり
まわっていたというのは、
まさに沖縄の戦場と多まる
場面だった。

サイパンの戦争体験②

県人捕虜、米軍作業に 郷土への爆撃加担に苦悩

「だが、その側から大人達
が歩いているが、まったく
見ていないふりをし、誰
一人助けようとしなかつ
た。『僕はこの女の子を助
けたいが水が手に入らな
い、配給もないから何にも
持っていないし、どうも
その兄は亡くなってしま
いました。それで妹は泣い
ていたが、僕もそこで一緒
泣きましたけど、僕も親の
いない子供だし、どうする

ことも出来ませんでした」
宮城トヨさんから聞き取
りできたので、ひん死の沢
岷さんを発見した経緯も明
らかにした。トヨさんの
記憶では、沢岷さんは收容
所の舞舎にも入れてもらえ
ず、その軒下に栄養失調状
態で横たわっていた。手足
は細く、お腹は膨らんで大
変な恰好になっていた。

親戚に発見され

「だが、その側から大人達
が歩いているが、まったく
見ていないふりをし、誰
一人助けようとしなかつ
た。『僕はこの女の子を助
けたいが水が手に入らな
い、配給もないから何にも
持っていないし、どうも
その兄は亡くなってしま
いました。それで妹は泣い
ていたが、僕もそこで一緒
泣きましたけど、僕も親の
いない子供だし、どうする

そこでトヨさんは、班長
に頼んで沢岷さんを引き取
り、裸同然だったので、班長
あるがゆえに「こへ行つて
もらって、パンやランニングを
給してもらった。その收容
所内に孤児院ができて、我
が子同様に連れ帰った。

身を切る思い

「だが、その側から大人達
が歩いているが、まったく
見ていないふりをし、誰
一人助けようとしなかつ
た。『僕はこの女の子を助
けたいが水が手に入らな
い、配給もないから何にも
持っていないし、どうも
その兄は亡くなってしま
いました。それで妹は泣い
ていたが、僕もそこで一緒
泣きましたけど、僕も親の
いない子供だし、どうする

次回、海南島、中国戦
線でのウチナンチュの体
験証言を伝えたい。
(次回は12月中旬掲載)